

冬季から春先にかけて、**強風・高波** に注意しましょう。

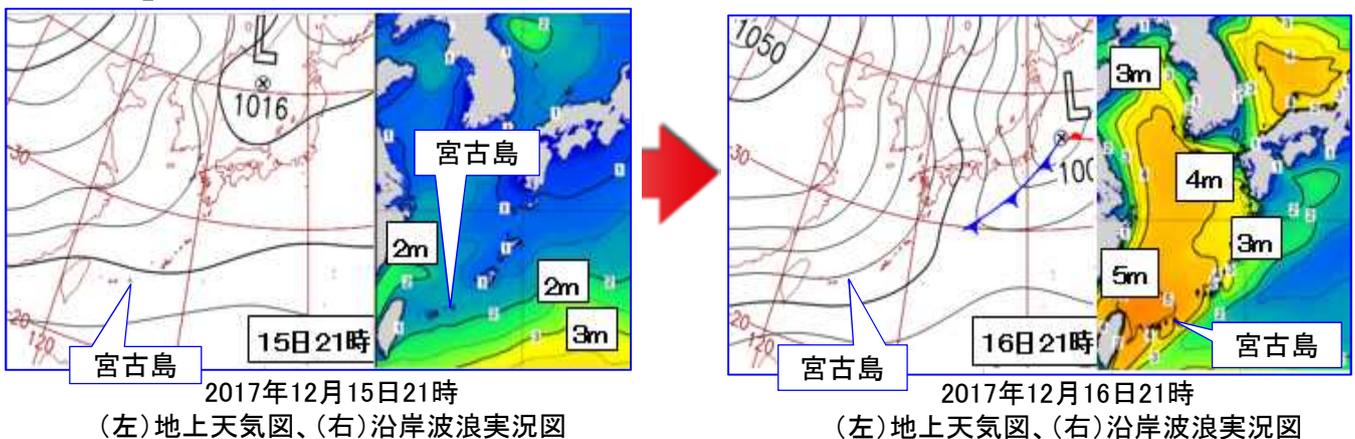
◇「西高東低の気圧配置」では、**強風・高波** に要注意！

「西高東低の気圧配置(※)」で大陸の優勢な高気圧が東シナ海に張り出してくると、南西諸島では、等圧線の間隔が狭まり、北寄りの風が強まります。このため、波が高くなり、海は「大しけ」となります。(※)天気図で日本から見て西側(中国大陸)に高気圧、東側に低気圧が位置する気圧配置。

○「西高東低の気圧配置(例)」

左図:15日21時は、大陸の高気圧が張り出す前で、南西諸島付近の等圧線の間隔は緩やか。
右図:16日21時は、大陸の高気圧が東シナ海へ張り出し、南西諸島付近の等圧線の間隔が狭くなっている(等圧線の間隔が狭い＝風が強い)。

16日は、宮古島地方でも15時過ぎから北寄りの風が急に強まり、その後、下地島空港で最大風速19.1メートル(最大瞬間風速24.2メートル)の強い風を観測した。沿岸の海域では、5メートルを超える「しけ」となった。



<強風、高波による過去の**海難事故**>

宮古新報より

○高波で釣人事故
(2012年1月)

宮古新報より

○強風と高波で船が転覆
(2016年1月)

◇気象台から発表する「**気象情報**」を有効に活用しましょう！

風が強まり、波が高くなる大しけ(しけ)の状況が予想される場合、気象台は数日前から「**高波と強風に関する宮古島地方気象情報**」を発表します。

マリレジャーや船舶など海での活動の際には、必ず事前に注意報や警報、気象情報の確認をお願いします。また、テレビやラジオだけでなく、気象台ホームページなどから情報を入手することもできます。これらの情報を活用して「**海難事故**」を防ぎましょう。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)